



まつざき真琴

県議会ニュース

原発・馬毛島特集

2011年9月号

発行/日本共産党鹿児島県議団
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL/FAX 286-3977
E-mail: kengidan@jcp-kagoshima.com

<http://jcp-kagoshima.com> 共産党まつざき 検索

ごあいさつ

みなさん、いかがお過ごしでしょうか。

三月十一日に発生した、東日本大震災と福島第一原発事故は、私たち国民の生活を大きく変えました。

この災害の犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表明すると共に、放射能被害を避けるため、避難生活を余儀なくされた方たちや、放射能の二次、三次被害や風評被害によって甚大な損害を受けられた方たちに心からお見舞い申し上げます。

今、住民のいのちと暮らしを守るために行政が何をすべきかが大きく問われています。

今回のニュースは、原発の特別委員会や馬毛島の問題について詳しく掲載しています。

どうぞ、ご意見やご要望をお寄せください。

県議会議員 まつざき真琴

まつざき真琴県議は、原子力安全対策等特別委員会で、参考人として招致された九州電力や原子力安全・保安院に対して、原発の「安全神話」の問題や川内原発の安全対策、「やらせ」メール問題について迫りました。

川内原発 「安全神話は崩れた」 「3号機増設は断念せよ」 原子力安全対策等特別委員会

福島第1原発の事故原因は？ 津波対策だけで「安全」か？

福島第1原発が苛酷事故に陥った原因についての認識をただし、安全対策として、津波対策だけで十分であるのかたどしました。また、福島原発の事故の収束がつかず、事故原因や事故内容の全容の解明がなされない中で、今の緊急対策で「安全」だと言えるのか迫りました。

地震国・津波国に集中立地することの危険性は？

保安院は、「川内原発周辺には、浜岡のような大地震を起こすプレート境界はない」と説明していますが、どうしてその浜岡に原発が5基も造られてきたのかという矛盾についてもたどしました。

「安全宣言」は撤回すべき！ 規制機関の役割を果たせ！

保安院は、推進機関から独立しておらず、規制機関として大変不十分な体制です。経済産業省から独立して、規制機関としての役割を果たすべきと迫りました。

原発の危険性の本質は？

莫大な「死の灰」を生み出す原発

今、開発されているどんな型の原子炉も、核エネルギーを取り出す過程で、莫大な「死の灰」を生みだし、人類は、これをコントロールする手段も無毒にする方法も持っていません。

100万年も安全に閉じこめておけるのか

「死の灰」の危険がなくなるには100万年もかかります。今から100万年前というと北京原人よりもっと前の時代です。100万年間も、誰が責任をもって安全に閉じこめておくのでしょうか。

地震大国になぜ54基も？

「原発利益共同体」の構図

原発は1基つくるのに5千億円もかかるビッグビジネスで、電力会社、原発メーカー、大手ゼネコン、鉄鋼・セメントメーカー、大銀行などの大企業が儲かるしくみです。この勢力が原発推進の政党・政治家に政治献金を配り、代弁者にしたてあげ、官僚と癒着し、官僚を操り、官僚は電力会社に天下りして巨額の報酬を得る。一部「有名大学」の研究などに巨額の寄付をバラマキ、御用学者をつくりあげる。さらに、巨大メディアを巨額の広告費で買収し、原発推進の仲間を引き入れる。このようにして「原発利益共同体」が作られてきました。

アメリカいいなりの構図

1955年の日米原子力協定以来、アメリカからの濃縮ウランの輸入と同時に原子炉の輸入が進められてきました。今も日本で使われる濃縮ウランの73%はアメリカからの輸入です。濃縮ウランも原子炉もアメリカ頼みとなっています。

原発ゼロの日本をめざして

3号機増設計画はどうなっているの？

昨年11月の知事のゴーサイン

昨年9月議会で、自民党・公明党の賛成多数で、3号機増設の賛成陳情が採択され、伊藤知事は、国に対して3号機増設を認める「同意」を行いました。それを受け、九州電力は国に3号機増設の申請をしています。

福島第1原発事故で、事実上、増設はストップ

3月11日の原発の事故をうけ、伊藤知事は、3号機増設にかかわる県の手続きを事実上行わないことを明らかにしています。

●3号機増設計画の同意「撤回」など、知事宛へ申し入れ



日本共産党も参加する「原発の危険に反対する鹿児島県連絡会」で、九州電力川内原子力発電所の3号機増設計画の同意「撤回」などを伊藤祐一郎知事あてに申し入れました。川内原発1、2号機の安全性の総点検、過酷事故を想定した防災体制の確立、自然エネルギーへの転換などを求めました。

3号機増設は断念せよ

薩摩川内市民をはじめとして、多くの県民が原発に不安を抱えています。3号機増設は断念し、まもなく30年の設計寿命を迎える1・2号機も計画的に廃炉にすべきです。